

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先に連絡ください。

受付 No.	284
研究課題名	胸腔鏡下左 S ¹⁺² 区域切除術における静脈分岐型に基づく手術手順
当院の研究責任者 (所属)	呼吸器外科 加藤博久
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	山形大学医学部外科学第二講座 准教授 塩野知志
本研究の目的	<p>最近の研究で小型肺癌には、従来から標準手術と考えられてきた肺葉切除術ではなく、切除範囲が小さな区域切除術が許容できるということが分かってきました。区域切除術の中でも左 S¹⁺² 区域切除術という術式は比較的多く行われており、その手術手順は肺静脈の分岐型により異なることが想定され、明らかではありません。</p> <p>そこで私たちは肺腫瘍に対し胸腔鏡下左 S¹⁺² 区域切除術が施行された患者さんのカルテに記載されている臨床情報と術前 CT 検査を分析し、胸腔鏡下左 S¹⁺² 区域切除術の肺静脈の分岐型に基づく手順の違いがあるのか、またその成績を明らかにしたいと考えています。</p> <p>この研究により、肺静脈の分岐型に基づく手順の違いがあることが明らかになれば、小型肺癌に対する胸腔鏡下左 S¹⁺² 区域切除術の手技の定型化に役立つのではないかと考えています。</p>
調査データ該当期間	2007年7月1日から2021年10月31日までに本院および山形大学医学部附属病院で主任責任者が入院もしくは手術に携わった胸腔鏡下左 S ¹⁺² 区域切除術を受けた方。
研究の方法(使用する 試料等)	<p>この研究では肺腫瘍を患っている方で胸腔鏡下左 S¹⁺² 区域切除術という手術を受けた方を対象に当時の臨床情報を用いて、肺静脈分岐の型を分類、それぞれの手術手順、手術成績の解析を実施します。</p> <p>◆利用する情報</p> <p>検査データ、診療記録(手術日当時の年齢、性別、病理診断、手術時間、出血量、術後ドレナージ期間、合併症、手術記録)、術前 CT 検査等。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 及び提供方法	<p>この研究のために収集した臨床情報は、山形大学医学部へ送付し、当院の臨床情報と合わせて解析を行います。</p> <p>提供の際は、匿名化を行いますので、個人が特定されることはありません。また、送付された臨床情報は送付先の規定に従って適切に管理します。</p>

個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
問い合わせ先	<p>電話：0238-46-5000（病院代表番号） 担当者：呼吸器外科 加藤博久 ※病院代表番号から医局へ電話を転送します。 用件を伝えていただきますと、折り返し担当者より連絡いたします。</p>
備考	<p>本研究へ臨床情報の利用を望まれない患者様またはご家族様は、上記問い合わせ先までお問い合わせください。臨床情報の使用に同意されない場合でも不利益が生じることはありません。</p> <p>なお、利用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。</p>